

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達相談センター・ベンチ（放課後デイサービス）			公表日		2025年 3月 24日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○		できるかぎり広く使えるよう、少人数、物の配置の工夫をしている。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		配置基準を満たしている。	スタッフの人数に対し役割分担に偏りがあるため、負担が偏らないよう調整をしていく。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		身支度表やスケジュール表など視覚的に活動内容がわかりやすく構造化された環境整備を行っている。	エレベーターが設置されているが、トイレはビルの2階と3階の間にあり、階段の昇降が必要となる。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		グループ活動と学習室を分けるなどメリハリのある空間づくりに努めている。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。			○	必要に応じて、パーティションで仕切るなどの対応をしている。	クールダウン・体調不良の子どもの休むスペースの検討が必要。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○			常勤職員に限らず、携わる多くのスタッフからの情報が得られるようにしていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		保護者向け評価表を用いたアンケート調査を実施し、いただけたご意見をもとに話し合いを行い業務改善に努めている。	保護者様の意見を把握する場（送迎、面談、保護者会、評価表）を活用していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		日々の打ち合わせやスタッフミーティングにて、課題や問題を明確にし、情報の共有化、意識向上に努めている。	さらにスタッフ同士が意見交換出来る形を考えていきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	現在のところ第三者による外部評価を実施できていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		・市の発達支援研修（基礎研修、専門研修等）や、県の研修等の場を提供している。 ・内部での勉強会を通し専門職同士の情報や意見交換など資質の向上を目指している。 ・法人内の研修（虐待防止、感染症対策等）に参加している。	研修で得た内容のスタッフ間での共有を周知していく。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		今年度より支援プログラムをHPに掲載している	今後内容を改訂しながら利用者に合わせて支援プログラムを提示していきたい。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○		日々の支援、6ヶ月に1回のアセスメント、保護者様へのアンケートや面談を実施し、ニーズと課題を分析した上で計画書の作成を行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		支援に関わるスタッフ間で常に情報を共有し、課題や問題を集約しながら計画を作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		支援計画に基づきプログラムを構成している。	支援の内容の確認と共有をしながら行っていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		標準化されたものを参考にして独自のアセスメントシートを作成している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		ガイドラインに基づいた、5領域・家族支援など、お子さまやご家庭の意向に合わせて支援計画を作成している。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		多職種の専門職と連携しながらプログラムの企画・立案に取り組んでいる。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・グループ活動は毎回変化をつけ、工作は季節を感じられるものや新しい情報を取り入れるなど工夫している。 ・クラス別・個別に難易度を調整するなどの配慮に努めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		グループ活動と個別（工作・学習）のプログラムを組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝のミーティング、プログラム前のミーティングにより内容の確認を役割分担の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		記録を取るとともにスタッフ間で振り返りを行い、情報の共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録（カルテ）を取っており、スタッフ間で振り返りを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に1回のモニタリングを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		学習では今日の課題を自己選択することにより最後まで取り組めるよう工夫することで、自己決定する力を育てるよう心がけている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・保護者から提供していただく学校の予定表や、学校のメール登録による情報提供に基づき調整を行っている。 ・送迎時対応・トラブル発生時の連絡について個別・保護者会等で周知している。	長期休暇時の送迎の変更など、連絡の周知を保護者様と行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者様のご希望に応じて対応をさせていただいている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		保護者様のご希望に応じて対応をさせていただいている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		対象者の年齢もあり、児童発達支援センターとの連携は行っていない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		学童クラブや他事業所との併行通所のお子様も多い為、特に交流の機会は設けていない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		現在は参加していない	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		面談や送迎時の申し送り等にて様子をお伝えしたり、電話やメールなど出来る限り保護者様に状況をお伝えできるよう努めている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		市主催のペアトレ等講習会のご案内をしている。	保護者様のご要望に応じた企画や、一緒に様々なことを考えたり、勉強できる機会が増えるよう検討していく。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時の面談において説明を行っている。	今後も丁寧な説明に努めていく。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時の面談などで保護者様の意向を伺っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画を説明しながら同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様との面談を定期的を実施するとともに、ご相談があった際は、その都度対応させていただいている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	・本年度は4月にグループ別説明会、6月に保護者会を開催した。	・保護者の方同士、きょうだい同士でのコミュニティの場が設けられていない。 ・保護者様のご意見をもとに、保護者同士の交流の場を提供していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		要望や相談があった際、即時に報告・情報共有し迅速な対応に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月の会報、お知らせ等の連絡をメール配信している。 ・会報はご希望により紙媒体の配布にも対応している。 ・事業所評価や支援プログラムをHPにて公開している。 ・SNSは個人情報保護の観点から使用していない。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		十分に注意し取り扱っている。また、スタッフ間でプライバシー厳守の徹底をしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個々の特性に応じて、わかりやすい言葉の他、絵カードなどの視覚ツールを用い伝えるよう心がけている。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	特に行っていない	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを整備している。 ・保護者様へは入所時及び年度初めの説明会等で説明をしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年に1回災害発生を想定した避難訓練を実施するとともに、保護者様との災害時緊急連絡訓練を併せて実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		入所時面談やアンケートに記入いただいている。さらに相談事業所より提供いただく資料にて確認している。	スタッフ間の情報周知を促していく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		原則として食事やおやつ等の提供は行っていないが、行事等必要に応じて対応している。	必要に応じて保護者様からの情報をもとに対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		所定の用紙に記入後、職員間で情報共有し事故防止に努めている。	スタッフ間の情報周知を促していく。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人主催の虐待防止のための研修に参画し、事業所において情報共有するよう努めている。	スタッフ間の情報周知を促していく。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		放課後等デイサービス計画に身体拘束が予想される場合に記載することとしている。また、保護者会にて説明を行っている。		